

学習目標 5-8 歳

1 関係性

- 1.1 家族
- 1.2 友情、愛情、恋愛関係
- 1.3 寛容、包摂、尊重
- 1.4 長期的な責任ある関係と子育て

1.1 家族

キーアイデア：

- ・ 世界中に、たくさんの異なる種類の家族の形があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ さまざまな家族の種類（例：ふたり親の家族、ひとり親の家族、世帯主が子どもの家族、世帯主が後見人の家族、拡大家族、核家族、非伝統的家族）について説明する。（知識）
- ▶ さまざまな種類の家族に対する尊重を表明する。（態度）
- ▶ さまざまな種類の家族への尊重を表現する方法を示す。（スキル）

キーアイデア：

- ・ 家族のメンバーには、それぞれ異なるニーズや役割があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 家族のメンバーのさまざまなニーズや役割を理解する。（知識）
- ▶ 家族のメンバーがさまざまな方法でお互いを大切にしていることを理解する。（態度）
- ▶ 家族の中での自分のニーズや役割を伝える。（スキル）

キーアイデア：

- ・ ジェンダー不平等は、しばしば家族のメンバーの役割と責任に反映されています。

学習者ができるようになること：

- ▶ 家族の中での男女の役割と責任の違いをリストアップする。（知識）
- ▶ その違いが、それぞれができること、できないことにどのような影響を与えるかを説明する。（知識）
- ▶ ジェンダー不平等が家族の中での役割と責任に影響を与えていることを認識する。（態度）
- ▶ 家族の中での男女の役割や責任について、自分自身の役割や感じ方を考える。（スキル）

キーアイデア：

- ・ 子どもに価値観を教える上で、家族のメンバーは重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ 価値観とは何かを定義する。（知識）
- ▶ 自分や家族が大切にしている価値観をリストアップする。（知識）
- ▶ 家族の価値観が子どもの価値観に影響を与えることを認める。（態度）
- ▶ 個人的な価値観を表現する。（スキル）

1.2 友情、愛情、恋愛関係

キーアイデア：

・友人関係にはさまざまな種類があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 友だちを定義する。(知識)
- ▶ 友情を大切にすること。(態度)
- ▶ 性別や障がい、健康状態などが、友だちになることを妨げるものではないことを認識する。(態度)
- ▶ 多様な友情を築く。(スキル)

キーアイデア：

・友情とは、信頼、共有、尊敬、共感、連帯に基づくものです。

学習者ができるようになること：

- ▶ 友情を構成する要素（例：信頼、共有、尊敬、サポート、共感、連帯感）を説明する。(知識)
- ▶ 友情を構成する要素に基づいて、友情を構築するための提案をする。(態度)
- ▶ 信頼、尊敬、理解、共有の方法を示す。(スキル)

キーアイデア：

・人間関係にはさまざまな種類の愛情が含まれています（例：友だちとの愛情、親との愛情、恋愛パートナーとの愛情）。愛情はたくさんのさまざまな方法で表現されます。

学習者ができるようになること：

- ▶ 愛情の種類や表現方法がわかる。(知識)
- ▶ 愛情はさまざまな方法で表現できることを認識する。(態度)
- ▶ 友情の中で愛情を表現する。(スキル)

キーアイデア：

・健康的な関係性と不健康な関係性があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 健康的な人間関係と不健康な人間関係の特徴をあげる。(知識)
- ▶ いいタッチと悪いタッチを定義する。(知識)
- ▶ 健康的な友情と不健康な友情があることを認識する。(態度)
- ▶ 健康的な友情を育み、維持する。(スキル)

1.3 寛容、包摂、尊重

キーアイデア：

・すべての人間は一人ひとりが異なりそれぞれに素晴らしく、社会に貢献することができ、尊重される権利を持っている。

学習者ができるようになること：

- ▶ 他人を公平、平等、尊厳、尊敬の念をもって扱うことの意味を説明する。(知識)
- ▶ 個々の違いに関係なく、すべての人間が社会に貢献できる方法の例をあげる。(知識)
- ▶ 人をからかうことが有害となる例をあげる。(知識)
- ▶ すべての人は個性的で価値ある存在であり、尊厳と敬意をもって扱われる権利があることを認識する。(態度)

- ▶他者に寛容さ、包摂、尊重を表現する方法を示す。(スキル)

1.4 長期的な責任ある関係と子育て

キーアイデア：

- ・家族構成や結婚の概念はさまざまです。

学習者ができるようになること：

- ▶「家族」と「結婚」の概念を説明する。(知識)
- ▶結婚するためのさまざまな方法（例：結婚相手を選ぶ、あるいはお見合い結婚をする）をあげる。(知識)
- ▶別居、離婚、死別で終わりを迎える結婚もあることを再認識する。(知識)
- ▶家族構成や結婚のしかたが異なっても、それぞれが価値のあるものであることを認識する。(態度)

2 価値観・人権・文化・セクシュアリティ

- 2.1 価値観とセクシュアリティ
- 2.2 人権とセクシュアリティ
- 2.3 文化、社会とセクシュアリティ

2.1 価値観とセクシュアリティ

キーアイデア：

- ・ 価値観とは、重要な問題について個人、家族、コミュニティが持つ強い信念のことです。

学習者ができるようになること：

- ▶ 価値観を定義する。(知識)
- ▶ 平等、尊重、受容、寛容など、重要な個人的価値観を明らかにする。(知識)
- ▶ 価値観や信念が、人生や人間関係についての意思決定の指針となることを説明する。(知識)
- ▶ 個人、仲間、家族、コミュニティでは、それぞれが異なる価値観を持ちうることを認識する。(態度)
- ▶ 自分たちが持っている価値観を共有する。(スキル)

2.2 人権とセクシュアリティ

キーアイデア：

- ・ すべての人に人権があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 人権を定義する。(知識)
- ▶ 誰にでも人権があり、それは尊重されるべきであることを認識する。(態度)
- ▶ 人々の人権に対する支持を表現する。(スキル)

2.3 文化、社会とセクシュアリティ

キーアイデア：

- ・ 自分自身、自分の感情、自分のからだについて学ぶのに役立つ情報源はたくさんあります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 自分自身や自分の感情、自分のからだを理解するのに役立つ情報源（例：家族、個人、仲間、コミュニティ、ソーシャルメディアを含めたメディア）を挙げる。(知識)
- ▶ 家族やコミュニティから学んだ価値観や信念が、自分自身や自分の感情、自分のからだについての理解の指針となることを認識する。(態度)
- ▶ 信頼できる大人を見つけ、自分の感情やからだについての疑問をどのように質問するかはっきりと示す。(スキル)

3 ジェンダーの理解

- 3.1 ジェンダーとジェンダー規範の社会構築性
- 3.2 ジェンダー平等、ジェンダーステレオタイプ、ジェンダーバイアス
- 3.3 ジェンダーに基づく暴力

3.1 ジェンダーとジェンダー規範の社会構築性

キーアイデア：

- ・ 生物学的性とジェンダーの違いを理解することは重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ ジェンダーと生物学的性を定義し、それらがどのように違うか説明する。(知識)
- ▶ 生物学的性やジェンダーについて、自分がどのように感じているかを考える。(スキル)

キーアイデア：

- ・ 家族、個人、仲間、コミュニティは、性やジェンダーに関する情報源です。

学習者ができるようになること：

- ▶ 性とジェンダーに関する情報源を明らかにする。(知識)
- ▶ 性とジェンダーに関する視点は、多くのさまざまな情報源から影響を受けていることを認識する。(態度)

3.2 ジェンダー平等、ジェンダーステレオタイプ、ジェンダーバイアス

キーアイデア：

- ・ すべての人は、ジェンダーに関係なく、平等に価値があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ ジェンダーを理由に、人々がどのように不公平、不平等に扱われうるかを理解する。(知識)
- ▶ 家庭や学校、コミュニティにおいて、ジェンダーの異なる人たちの関係をより公正で平等なものにするための方法を説明する。(知識)
- ▶ 異なるジェンダーの人々を不公平に、不平等に扱うことは間違っており、人権に反するものであると認識する。(態度)
- ▶ ジェンダーの違いにかかわらず、他者の人権を尊重することが重要であることを認識する。(態度)

3.3 ジェンダーに基づく暴力

キーアイデア：

- ・ ジェンダーに基づく暴力とは何か、どこに助けを求めるのかを知ることは重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ ジェンダーに基づく暴力を定義し、さまざまな場所 (例: 学校、家庭、公共の場) でそれが起こりうることを認識する。(知識)
- ▶ 私たちのジェンダーやジェンダーステレオタイプについての考え方が、差別や暴力を含めて他者への接し方に影響を与えていることを理解する。(知識)

- ▶あらゆる形のジェンダーに基づく暴力は間違っていることを認める。(態度)
- ▶学校内やその周辺でのものも含め、自分や知り合いがジェンダーに基づく暴力に直面した場合に、それを話すことのできる信頼できる大人にどのようにアプローチするかを明らかにし、説明する。(スキル)

4 暴力と安全確保

- 4.1 暴力
- 4.2 同意、プライバシー、からだの保全
- 4.3 情報通信技術 (ICTs) の安全な使い方

4.1 暴力

キーアイデア：

- ・ いじめや暴力を認識し、それらが間違っただと理解できることが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ からかい、いじめ、暴力の定義をする。(知識)
- ▶ いじめや暴力は間違っただと理解でき、決して被害者が悪いのではないことを認識する。これには、家族や他の大人による暴力も含まれる。(態度)
- ▶ 仲間の中でのいじめや暴力に対応するための安全な行動を示す。(スキル)

キーアイデア：

- ・ 子ども虐待を認識でき、それが間違っただと理解できることが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ 性的虐待やオンライン上での子どもに対する性的搾取を含む子ども虐待を定義する。(知識)
- ▶ 子ども虐待は子どもの権利を侵害するものであり、決して被害者が悪いのではないことを認める。その子どもへの性的虐待が、大人や知り合い、信頼する人、さらには家族からのものであっても。(態度)
- ▶ 大人が性的虐待をしようとした場合、自分ができる行動 (例: 「嫌だ」、「あっちへ行け」と言う、信頼できる大人に相談する) を示す。(スキル)
- ▶ 親や保護者、信頼できる大人を明らかにし、虐待を受けた場合に虐待をどのように伝えればよいかを示す。(スキル)

キーアイデア：

- ・ 両親や恋愛関係にある人たちの間でも暴力は間違っていると理解することが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ 親同士や恋愛関係にある人たちの間で起こりうる暴力の種類 (例: 身体的に傷つける、意地悪を言う、相手に何かを強要する) を認識する。(知識)
- ▶ 親同士や恋愛関係にある人たちの間で起こる暴力は間違っただと理解でき、決して被害者が悪いのではないことを認める。(態度)
- ▶ 家庭内でこのような暴力を目にした場合、信頼できる大人にどのように支援を求めるかを明らかにし、説明する。(スキル)

4.2 同意、プライバシー、からだの保全

キーアイデア：

- ・ 自分のからだに、誰が、どこに、どのような方法で触れることができるかを定める権利を、誰もが持っています。

学習者ができるようになること：

- ▶ 「からだの権利」の意味を説明する。(知識)
- ▶ からだのどの部分がプライベートな部分かを明らかにする。(知識)

- ▶誰もが「からだの権利」を持っていることを認識する。(態度)
- ▶不快に感じる触られ方をした場合の対処法 (例:「嫌だ」と言う、「あっちへ行け」と言う、信頼できる大人に話す) を示す。(スキル)
- ▶誰かに触られて不快感を感じた場合は、親や保護者、信頼できる大人にどのように伝えるかを明らかにし、説明する。(スキル)

4.3 情報通信技術 (ICTs) の安全な使い方

キーアイデア：

・インターネットやソーシャルメディアは、情報収集や、他者とつながるための手段であり、安全に使うことができる一方で、子どもを含め人々を傷つけるリスクにさらす可能性もあります。

学習者ができるようになること：

- ▶インターネットやソーシャルメディアとは何かを説明する。(知識)
- ▶インターネットやソーシャルメディアの利点と潜在的な危険性をあげる。(知識)
- ▶インターネットやソーシャルメディアを、それらが安全ではない可能性があることを認識したうえで、認める。(態度)
- ▶インターネットやソーシャルメディアで何かをしたり見たりしたことで、不安になったり怖くなったりにした場合に、信頼できる大人に相談する方法を明らかにし、その方法を示す。(スキル)

5 健康と幸福のためのスキル

- 5.1 性的行動における規範と仲間の影響
- 5.2 意思決定
- 5.3 コミュニケーション、拒否、交渉のスキル
- 5.4 メディアリテラシーとセクシュアリティ
- 5.5 援助と支援を見つける

5.1 性的行動における規範と仲間の影響

キーアイデア：

- ・ 仲間の影響はさまざまなかたちで存在し、良くも悪くもあります。

学習者ができるようになること：

- ▶ ピアプレッシャー（仲間からの同調圧力）を定義する。（知識）
- ▶ 仲間からのよい影響、悪い影響の例を説明する。（知識）
- ▶ 仲間からの影響にはよいものも悪いものもあると認識する。（態度）
- ▶ ピアプレッシャーに対抗する方法を示す。（スキル）
- ▶ 仲間に影響を与えうるポジティブな行動のモデルとなる。（スキル）

5.2 意思決定

キーアイデア：

- ・ 誰もが自ら意思決定をするに値し、そのすべての決定には結果が伴います。

学習者ができるようになること：

- ▶ これまでに自分が下し、誇りに思っている意思決定を説明する。（知識）
- ▶ 自分や他の人が下した意思決定が、よい結果になったり悪い結果になったりした例をあげる。（知識）
- ▶ 子どもや若者が意思決定をする際には、親や保護者、信頼できる大人の助けが必要なきときもあることを認識する。（態度）
- ▶ 適切な意思決定をするために役立つ状況を理解していることを示す。（スキル）
- ▶ よい意思決定をするのを助けてくれる親や保護者、信頼できる大人を見極めることができる。（スキル）

5.3 コミュニケーション、拒否、交渉のスキル

キーアイデア：

- ・ 親や保護者、あるいは信頼できる大人と子どもとの関係性、そして友だちやその他すべての人との関係においてコミュニケーションは重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ コミュニケーションのさまざまな形（言語的／非言語的コミュニケーションを含む）を明らかにする。（知識）
- ▶ 健康的なコミュニケーションと不健康なコミュニケーションの違いを明らかにする。（知識）
- ▶ 親／保護者、信頼できる大人と子どもとの関係性、そして友だちやその他すべての人との健康的なコミュニケーションを行うことの利点をあげる。（知識）
- ▶ 「はい」と「いいえ」を明確に伝えることが、自分のプライバシーを守り、からだを保全し、幸せな人間関係を築くための中心的な要素であることを再認識する。（知識）
- ▶ すべての人が自分を表現する権利を持っていることを認識する。（態度）

- ▶ 言語的／非言語的コミュニケーションと「はい」と「いいえ」のさまざまな言い方を示す。(スキル)

キーアイデア：

- ・ ジェンダー役割は、人とのコミュニケーションに影響を与える可能性があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ ジェンダー役割の例を再認識する。(知識)
- ▶ ジェンダー役割が人とのコミュニケーションに影響を与えうることを認識する。(態度)

5.4 メディアリテラシーとセクシュアリティ

キーアイデア：

- ・ メディアにはさまざまな形態があり、その提示する情報は正しいかもしれないし正しくないかもしれません。

学習者ができるようになること：

- ▶ さまざまなメディアの形態（ラジオ、テレビ、書籍、新聞、インターネット、ソーシャルメディアなど）をあげる。(知識)
- ▶ メディアから提供される正しい情報と誤った情報の例について議論する。(知識)
- ▶ メディアから提供される情報が必ずしも正しいとは限らないことを認識する。(態度)
- ▶ さまざまなメディアを通じて提供される情報をどのように見ているか、認識を示す。(スキル)

5.5 援助と支援を見つける

キーアイデア：

- ・ 友だち、家族、先生、宗教指導者、コミュニティのメンバーは、お互いに助け合うことができるし、そうすべきです。

学習者ができるようになること：

- ▶ 信頼できる大人とはなにかを説明する。(知識)
- ▶ お互いに助け合うための具体的な方法を説明する。(知識)
- ▶ すべての人には保護され、支援される権利があることを認識する。(態度)
- ▶ 信頼できる大人を見つけ、助けを求める方法を示す。(スキル)

6 人間のからだと発達

- 6.1 性と生殖の解剖学と生理学
- 6.2 生殖
- 6.3 思春期
- 6.4 ボディイメージ

6.1 性と生殖の解剖学と生理学

キーアイデア：

・自分のからだの名称と機能を知ることが重要で、性器や生殖器を含めてそれらに好奇心を抱くのは自然なことです。

学習者ができるようになること：

- ▶ 内性器と外性器の重要な部分を明らかにし、その基本的な機能を説明する。(知識)
- ▶ 性器を含め、自分のからだに興味を持つことは、ごく普通のことであると認識する。(態度)
- ▶ 気になるからだの部位について質問したり、答えたりしてみる。(スキル)

キーアイデア：

・障がいのある人も含め、誰もが尊敬に値するそれぞれにすばらしいからだを持っています。

学習者ができるようになること：

- ▶ 男性、女性、男子、女子のからだの同じところ、違うところ、そしてそれらが時間の経過とともにどのように変化するかを明らかにする。(知識)
- ▶ すべての文化が、人のからだを見るさまざまな視点を持っていることを説明する。(知識)
- ▶ 障がいのある人も含め、すべての人のからだは尊重に値するものであることを認める。(態度)
- ▶ 自分のからだの好きなところについて表現する。(スキル)

6.2 生殖

キーアイデア：

・妊娠は、卵子と精子が結合し、子宮に着床して始まります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 生殖のプロセス、具体的には、妊娠が始まるためには、精子と卵子の両方が結合し、子宮に着床する必要があることを説明する。(知識)

キーアイデア：

・妊娠は一般的に 40 週程度続き、その間に女性のからだは多くの変化をたどります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 妊娠中に女性のからだが多くなる変化について説明する。(知識)
- ▶ 妊娠中に女性のからだが多くなる変化について、どのように感じているかを表現する。(スキル)

6.3 思春期

キーアイデア：

- ・ 思春期とは、子どもの成長と成熟にともなって起こる身体的、感情的な変化の時期です。

学習者ができるようになること：

- ▶ 思春期を定義する。(知識)
- ▶ 成長には身体的、感情的な変化がともなうことを理解する。(知識)
- ▶ 思春期は正常で健康的な青年期の一部であることを認める。(態度)

6.4 ボディイメージ

キーアイデア：

- ・ すべてのからだは特別で個々に異なりそれぞれに素晴らしく、人は自分のからだを気持ちよく感じているべきです。

学習者ができるようになること：

- ▶ すべてのからだは特別で、個々に異なりそれぞれに素晴らしいことを再認識する。(知識)
- ▶ 自分のからだに誇りを持つことの意味を説明する。(知識)
- ▶ 自分のからだをポジティブに認識する。(態度)
- ▶ 自分のからだをどう感じているかを表現することができる。(スキル)

7 セクシュアリティと性的行動

7.1 セックス、セクシュアリティ、生涯にわたる性

7.2 性的行動と性的反応

7.1 セックス、セクシュアリティ、生涯にわたる性

キーアイデア：

- ・生涯を通じて、自分のからだや他者と親しい関係になることを楽しむのは、人間として自然なことです。

学習者ができるようになること：

- ▶ 身体的なよろこびや興奮は人間の自然な感情であり、これには他人との身体的な親密さも含まれうることを理解する。(知識)
- ▶ 身体的感覚を表すたくさんの言葉があり、その中には、他者にその感覚を示したり、他者との距離を縮めたりすることに関係するものもあることを理解する。(知識)
- ▶ 他人への感情や親近感の表現方法には、適切な言葉や行動と不適切な言葉や行動があることを認識する。(態度)

7.2 性的行動と性的反応

キーアイデア：

- ・人はふれあいや親密さを通して、他の人に愛情を示すことができます。

学習者ができるようになること：

- ▶ キス、ハグ、ふれあいを含むさまざまな方法で、時には性的行為を通して、愛情や思いやりを示すことができると述べる。(知識)

キーアイデア：

- ・子どもたちは、何が適切で何が適切でないタッチなのかを理解すべきです。

学習者ができるようになること：

- ▶ 「いいタッチ」と「悪いタッチ」を定義する。(知識)
- ▶ 子どもへのタッチには、いくつかの悪い方法があることを認識する。(態度)
- ▶ もし誰かが悪いタッチをしてきたらどうするかを示す。(スキル)

8 性と生殖に関する健康

- 8.1 妊娠と避妊
- 8.2 HIV/エイズのスティグマ（恥と罪の意識）、ケア、治療、サポート
- 8.3 HIVを含む性感染症リスクの理解、認識、低減

8.1 妊娠と避妊

キーアイデア：

- ・妊娠は自然な生物学的プロセスであり、計画的に行うことができます。

学習者ができるようになること：

- ▶ 卵子と精子が結合し、子宮に着床することで妊娠が始まることを再認識する。(知識)
- ▶ 妊娠と生殖は自然な生物学的プロセスであり、いつ妊娠するかは計画できることを説明する。(知識)
- ▶ すべての子どもが望まれ、ケアされ、愛されるべきであることを説明する。(態度)
- ▶ すべてのカップルが子どもを持つわけではないことを認識する。(知識)

8.2 HIV/エイズのスティグマ（恥と罪の意識）、ケア、治療、サポート

キーアイデア：

- ・HIVと共に生きる人たちは平等な権利を持ち、豊かな人生を送っています。

学習者ができるようになること：

- ▶ 適切なケア、治療、サポートがあれば、HIVと共に生きる人は十分に豊かな人生を送ることができ、希望すれば自分の子どもを持つことができると述べる。(知識)
- ▶ HIVと共に生きる人々は、他の人と同じように、愛情、尊敬、ケア、サポート（とその時々に必要な治療）を平等に受ける権利があることを認識する。(態度)

キーアイデア：

- ・HIVと共に生きる人々を助ける効果的な治療法があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 現在では、ケア、尊重、サポートによって、HIVと共に生きる人々が、自分の状態をコントロールできる効果的な治療法があることを述べる。(知識)

8.3 HIVを含む性感染症リスクの理解、認識、低減

キーアイデア：

- ・免疫システムは病気からからだを守り、人々の健康維持を助けます。

学習者ができるようになること：

- ▶ 「健康」と「病気」の概念を説明する。(知識)
- ▶ 人間には、病気から身を守る免疫システムがあることを説明する。(知識)
- ▶ 健康を守るためにできることを列挙する。(知識)

キーアイデア：

- ・ 人は病気にかかっても、健康そうに見えることがあります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 病気にかかっても、健康に見えたり健康だと感じていたりする場合があることを再認識する。(知識)

キーアイデア：

- ・ 病気の有無に関わらず、誰もが愛情、ケア、サポートを必要としています。

学習者ができるようになること：

- ▶ 健康状態に関わらず、人がいかに愛情やケア、サポートを必要としているかを説明する。(知識)